

- 法医学とは、亡くなった人から様々なことを学び、生きている人に生かすための学問であり、人々の権利を守り、社会の安全と福祉の向上に寄与することを目的にしています
- 2014年に設立された法医学教育研究センターでは、以下の6分野で実務、研究が行われています

• 法医病理学分野

実務においては主に解剖等により正確に死因を判定しています。研究では死後の血管造影等を用いた新たな検査手法の導入について検討しています。

• 臨床法医学分野

実務においては被虐児や傷害事件の被害者等の診察を行っています。研究ではChild Death Reviewの試験的導入などを試みています。

• 法医画像診断学分野

実務においては生体及び死体のCT画像の診断を行っています。研究では様々な骨の長さを計測するなどから、身長の見積り法を開発したり、死後CTを用いた死因診断を行う上でのピットフォールなどを調べています。

• 法歯科学分野

実務においては身元不明死体の歯科所見を採取し、身元特定に協力しています。研究では歯牙1本から年齢推定や薬物中毒などを判定する方法を検索しています。

• 法遺伝学分野

実務においては様々な資料を用いたDNA検査を実施し、個人識別を行う他、DNA検査から疾病の有無を調べています。研究においては突然死を遺伝子から診断できないか試みています。

• 法中毒学分野

実務においては死体あるいは生体由来の試料を用いて薬物の定性・定量検査を行い、中毒の診断に役立てています。研究では新たな薬物分析方法の開発や、死体における薬物動態について研究しております。

興味のある方は以下まで連絡をください

教授：岩瀬博太郎

E-mail: iwase@faculty.chiba-u.jp

URL: <https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/houi/>